

令和5年度 第1回放課後対策事業運営委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和5年7月12日(水) 午前10時～午前11時

射水市役所本庁舎4階 401会議室

2 出席者

【委員】

東委員、竹林委員、八嶋委員、高田委員、宮田委員、米原委員、森田委員
遠藤委員、星野委員 (欠席者なし)

【事務局】

生涯学習・スポーツ課 石黒係長、川合主事、石黒主事、吉田コーディネーター
中コーディネーター、折橋コーディネーター

学校教育課 川淵係長、稲田主査

3 会議概要

(1) 開会

(2) 委員長、副委員長の互選

(3) 議事

【説明事項】

放課後児童クラブの概要

放課後子ども教室・土曜学習推進事業の概要

コミュニティスクールについて

(4) 放課後対策事業に関する意見交換

(5) 閉会

□ 配布資料

・ 会議次第

・ 資料1 放課後児童クラブの概要

・ 資料2 放課後対策事業運営委員会名簿

・ 資料3 コミュニティスクールについて

・ 参考資料1 射水市放課後対策事業運営委員会委員名簿

・ 参考資料2 射水市放課後対策事業運営委員会設置要綱

4 説明事項についての質疑応答

【委員】

- ・コミュニティスクールについて、放課後子ども教室の推進員は今後コミュニティスクールの支援員も兼ねる必要があるのか。

【事務局】

- ・放課後子ども教室の支援員とは別枠でコーディネーターを置く予定としている。放課後子ども教室の支援員の方は従来通り、地域学校協働推進員として活動を続けていただきたいと考えている。

5 放課後対策事業に関する意見交換

【委員】

- ・親の介護世代、孫の世話世代の支援員でシフトをまわしており、1日開級となる夏休みのシフトを組むことができるか心配している。
- ・放課後子ども教室へ通う児童がいる場合は、一度学級に立ち寄ってから教室へ向かうように促している。放課後子ども教室は学級では学ぶことのできない体験をしており、児童の楽しそうな姿を見ることができる。

【委員】

- ・学校から学級まで離れているため1年生の入級児童に関しては、毎日学校へ迎えに行き学級まで一緒に向かっている。
- ・夏休み前になると、休み期間中のみ利用希望の問い合わせが多くなっており、登録児童が増加する。
- ・放課後子ども教室との協力について、教室に通っている児童がいる場合は学校まで迎えに行っている。学校から離れた場所にあるため放課後子ども教室に登録している児童が入級している場合は、学校まで迎えに行くこととしており、複数の教室があるときは、何往復もする必要がある。

【委員】

- ・放課後子ども教室の活動については、異年齢の子供たちで活動することを心がけている。言葉に触れる機会をつくり、子どもたち自身に考えさせることで、主体性を持ち成長が感じられる。教室が終わってからは、学童への送迎、保護者の迎えを一緒に待つ事を必ずしており、児童が1人で帰らないように気を付けている。

【委員】

- ・子どもたちにとって、茶道は非日常の体験であるため静かに教室に通っている。毎回、忘れずに教室に来てくれることがとてもうれしく思っている。

【委員】

- ・読み聞かせの活動をしている中で、どのようにすれば子どもたちが楽しく放課後の時間を過ごしてくれるか毎回考えながら活動している。今年度の活動では、人形劇を使った回も考えており、子ども達が楽しく放課後を過ごしてくれるように努めている。

【委員】

- ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室の間にいる子どもがいるように感じる。どちらにも入っていないが、年の離れた兄弟を待っているであろう子どもも何名かいる。低学年と高学年の下校時間の約1時間程度預かってくれる場所等があれば助かる家庭が多くあると思う。

【事務局】

- ・コミュニティスクールの運営が進めば、放課後の預かり先がない児童を受け入れてくれる地域ボランティアを募集することも可能である。そのような、学校や放課後事業だけでは解決しきれない細かなニーズに対応できるコミュニティスクールづくりを進めていきたい。

6 小学校からの意見・要望・感想

【委員】

- ・学校側としては、子どもにとって放課後の安心できる場所を作ってください、大変ありがたく思っている。感染症の影響も緩和され、子どもたちは今までできなかった体験をすることができ、楽しそうに放課後の時間を過ごしている。今後の課題としては、台風等の影響で急に実施が難しくなった場合の連携を図ることが必要であると感じた。小さい児童も預かっているので、安全に過ごせるよう学校と放課後事業との連絡をしていきたいと思った。

【委員】

- ・子どもの安全に気を配りながら、放課後の時間を作ってくださいることを改めて認識し感謝申し上げます。放課後の事業においても、安全に実施できてこそ、子どもの楽しさにつながると思う。学校行政とも協力していきながら、子どもが安心安全に過ごすことができるよう努めてまいります。

7 行政側からの意見・要望・感想

【委員】

- ・子どもたちに放課後の安心できる居場所や活動の機会を与えてくださっていることに対し、感謝申し上げます。地域学校協働活動については、今始まったものではなく、これまで皆様が積み上げてきてくださったものが活かされている活動である。今後地域全体で子どもを支えるために、どう連携・展開させていく方策を考えながら体制を整えていきたい。

【委員】

- ・皆様にはいつも子どもたちの健全育成にご協力いただき感謝申し上げます。現在、市の方ではコミュニティスクールの整備を進めており、今まで学校運営や放課後事業だけでは手の届かなかった細かな問題に対して話し合うことができる環境の整備を行っているところである。現在行われている放課後の活動に関しては、従来通り続けていただければ、ありがたいと思っている。

(午前10時00分開始、11時00分終了)